

新しい校歌「^{ここう}孤高の^{ほし}星」が完成しました

いいたて希望の里学園の校歌の制作をお願いしていた黛まどかさんと南こうせつさんから、校歌が届きました。

2月5日、作詞を担当した黛まどかさんと、編曲を担当したバリトン歌手の平林龍さんが、飯館中学校に来校し、子ども達に新しい校歌を、初めて披露しました。

当日は、黛さんが、校歌に込めた思いを、子ども達に伝えました。平林さんには、歌唱指導をしていただきました。

黛さんは、昨年9月に村を訪れ、児童・生徒から、新しい校歌に込めたい思いや言葉、村の思い出などを、直接聞き取りました。そうしてつくられた歌詞の意味について、黛さんは、次のように語りました。

飯館村は、高い理想をもった村だと思っています。限られた3番までの歌詞の中に、子ども達の思いを込めました。どの学年からも、「までい」という言葉を入れてほしいと言われました。また、自然や、人とのつながりなどを大切にしたいという子ども達の思いも受けて、心を込めて歌詞をつくりました。歌は、歌うことで完成します。新しい校歌を、大切に歌い継いでほしいです。

この日、平林さんのピアノ伴奏に合わせて、新しい校歌が、子ども達によって初めて歌われました。子ども達の澄んだ歌声は、間もなく迎える新しい学校の誕生を喜ぶかのように、力強く響き渡りました。歌唱指導の後、代表生徒が、「歌に込められた想いを大切にし、歌い継がれるようにしていきたい」と、お礼の言葉を伝えました。



新しい校歌の歌詞は、P4に掲載しています。
児童・生徒が練習を重ねて、新しい校歌は、4月5日の開校式で、改めて披露される予定です。
右の記事にある通り、開校式には、村民の皆さんはどなたでも出席することができます。ご都合のつく方はどうぞ気軽においでください。村の学校の節目を体感し、子ども達の新たな門出を応援してください。

閉校と開校に向けて 節目を迎える 準備が進んでいます



閉校式と開校式を挙ります

3月末をもって長い歴史に幕を下ろす、草野・飯樋・白石小学校と飯館中学校の閉校式を、3月29日(日)に挙行することになりました。

また、式に合わせて、閉校となる4校の校歌の歌碑の移設、スライド上映、児童・生徒から歌のプレゼントなどを行う「閉校記念行事」も実施します。

そして、4月5日(日)には、「いいたて希望の里学園」の開校式を挙行します。村民の皆様も参加できますので、ぜひ会場にお越しください。

閉校式及び開校式の詳細は、「広報いいたてお知らせ版」3月20日号でお伝えします。

第3回住民説明会を開催しました

1月25日、飯館中学校において、「義務教育学校開校に関する住民説明会」を開催しました。

説明会では、義務教育学校開校の準備状況を報告しました。また、加えて、令和2年度の義務教育学校における諸経費の一部保護者負担の考え方について、説明しました。

〈諸経費の一部保護者負担について〉

震災以降、国費で手当てされてきた児童・生徒の制服代や、こども園・学童保育のおやつ代等について、国の制度内容が変更されました。それに伴い、保護者の皆様に、それらの一部負担をお願いすることになりました。ご理解とご協力をお願いいたします。

